身近なまちの話題について情報をお寄せください。 **報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。**

●クワガタを手に笑顔溢れる子どもたち

KABUTO・KUWAGATAクシ引き大会



↑特賞のヘラクレスオオカブトを引き当てた、嘉麻市から来た笑顔の弓戸さん

7月26日、道の駅歓遊舎ひこさんでKABUTO・K UWAGATAクジ引き大会が開催されました。道の駅 職員が育てたり採ってきたりしたカブトムシとクワガタ 330匹の他、新鮮な野菜や特産品なども合わせ約600の景 品が用意された催しは、10時の開会前から館内に入りき らないほどの人でにぎわいました。9時の道の駅開店か ら並んで待った人も多く、2時間程で完売。午後からは カブトムシ、クワガタの大きさ自慢大会も開催され、道 の駅が昆虫と子どもの笑顔でいっぱいになりました。

▶差別されない権利を守っていくために 人権講演会

同和問題啓発強調月間中の7月29日、オークホールで 九州大谷短期大学の組坂幸喜さんを講師に「差別されな い権利」と題して人権講演会が開かれました。全国部落 調査復刻版出版事件やインターネット上の書き込みなど の事例から「インターネットが普及したことで差別意識 が顕在化してきた」と指摘した組坂さん。差別をなくそ うとしている人たち・行政・教育機関が連携して差別意 識を持つ人や差別的内容を掲載したウェブサイトへの啓 発を続けていかなければならないと話していました。



↑差別撤廃の考えを交流できるネットワークを構築していく必要があると話す組坂さん



まちかど特派員投稿







を披露する侍BALLERS (写真は 福岡市を拠点に20年以 上活動しているフリース

タイルバスケットボールチーム「侍 BALLERS(サ ムライボーラーズ)」。添田町出身の澤田伊武希さん が所属しているチームです。その侍 BALLERS が チームの悲願の一つ、『NBA』の舞台でのハーフ タイムパフォーマンスを行いました。添田フレンズ、 添田中学校バスケットボール部、田川高校バスケット ボール部と幼いころから球技を行ってきた澤田さん。 高校牛の時に YouTube で侍 BALLERS の動画を見 て、「freestyle basketball」というカルチャーを知 り、活動を始め、令和6年春に行われたトライアウト を経てチームに加入します。そして侍 BALLERS は 令和7年にNBA ハーフタイムショーにパフォーマン ス出演することが決定します。このパフォーマンスに はもちろん澤田さんも参加します。3月24日フェニッ クス・サンズ戦、3月27日、河村勇輝選手が出場した メンフィス・ハッスル戦、3月29日、メンフィス・グ リスリーズ戦のホームでパフォーマンスを披露しまし た。中学生の頃から憧れだったNBAの舞台に立った 澤田さん。当時を「バスケ少年だった頃からテレビに かぶりつくように見ていたNBAのコートのど真ん中 に自分が立っていることが不思議な経験でした。言葉 では表せないくらいの感情が溢れて涙しました。今ま での私生活からバスケからドッジボール、

もうすべてが走馬灯の様に頭を感情が駆け 巡る、アスリートのゾーン的な体験を初め てしました」と振り返ってくれました。 澤田さんのイ↑

受刑者の社会復帰に尽力した林新二さんが瑞宝単光章を受章



↑7月28日、受章報告で添田町役場を訪れた林さん燈と寺西町長御

元法務看守長の林新二さん(下中元寺)に瑞宝単光章 が授与されました。林さんは西田川高等学校卒業後、日 本国有鉄道に勤められ、その後昭和62年に法務事務官 (刑務官)を拝命。最初に小倉拘置所(現小倉拘置支所) に配属され、その後福岡刑務所、北九州医療刑務所、大 牟田拘置支所で勤務され、長きにわたり法務行政に尽力 してこられました。「高等学校卒業程度認定試験が刑務 施設内でも受けられるようになったときに、担当者とし て応募する受刑者の募集や、試験教科を教える人材探し などに奔走しました」と大変だった当時を振り返り、ま た、「刑務所に収容されている人を更生させることがで きたと実感できたとき、刑務官のやりがいを感じました とも話してくれました。定年退職後も令和7年3月まで 飯塚拘置支所に再任用として勤務した林さんはいつ呼び 出しがあるかわからないからという理由もあり、定年退 職するまでずっと単身赴任をされていました。現在は、 添田町に居住拠点を戻し、ご夫婦で健康教室に通ったり、 時々少し遠いところへ買い物に出かけたりと、家族との 時間を大切に過ごしているそうです。最後に、「県外勤 務の可能性もあった中、県内で勤務できたことは運が良 かった、そして受章は長い間、単身赴任を支えてくれた 妻のおかげです」と優しい笑顔で語ってくれました。

| 犯罪のない明るい社会をみんなで目指す

第75回社会を明るくする運動強調月間



↑道の駅玄関前で買い物客に啓発グッズを配る水上会長

添田町保護司会(水上 普会長)の皆さんが社会を明る くする運動月間中の7月2日、道の駅歓遊舎ひこさんで 啓発活動を行いました。犯罪や非行をした人の立ち直り を支援する民間ボランティアの保護司。この日は福祉施 設に物資支援などを行う町更生保護女性会(重松美津子 会長)と保護司の活動に理解を深めてもらうため啓発 グッズを配付しました。水上会長は「非行や犯罪を犯した 人の立ち直りには地域の理解が必要です。多くの人に保 護司の活動を知ってもらいたいです」と話していました。

▶事件・事故から自分の命を守るために 添田小学校防犯教室

7月3日、添田小学校で防犯教室が行われました。防 犯教室に先立って、福岡県警察音楽隊による安全・安心 コンサートが行われ、クラシックメドレーや添田小学校 校歌などの演奏が披露されました。防犯教室では、水の 事故を防ぐため「子どもだけで川に遊びに行かない」「ラ イフジャケットを活用する」などの注意事項や「ついて いかない」「車にのらない」などの自分を守るお約束"い かのおすし"を学んだ児童たち。田川警察署の皆さんの 話を真剣な眼差しでしっかりと聞いていました。



↑ 不審な人や知らない人に出会った時は「いかのおすし」で行動しましょう

9 広報そえだ (令和7年8月号) 広報そえだ(令和7年8月号) 8